

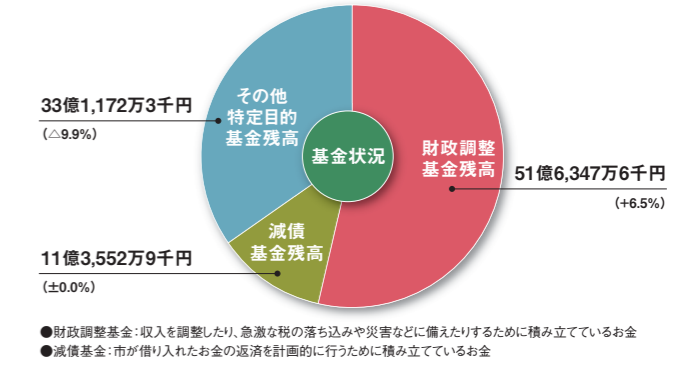
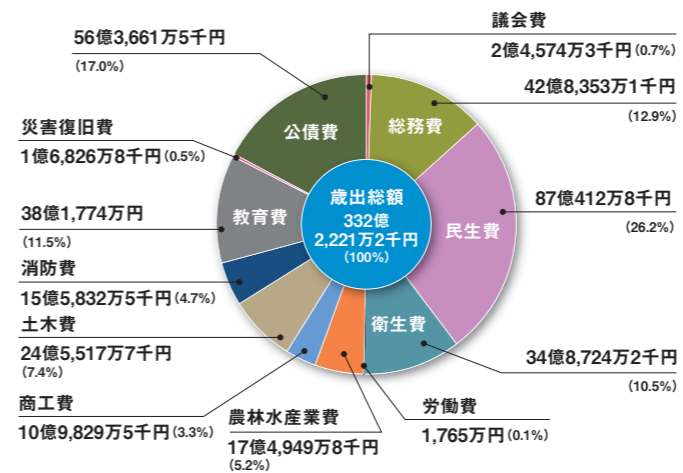
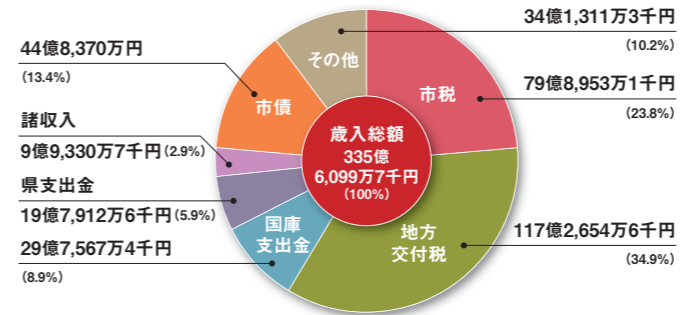
平成26年度は、市制施行10周年を迎え、北陸新幹線金沢開業や能越自動車道七尾水見道路の開通など「人が輝く交流体感都市」の実現に向けて積極的に取り組みました。

普通会計に入ってきたお金(歳入)は、335億6,099万7千円。そこから使ったお金(歳出)332億2,221万2千円を差し引くと「3億3,878万5千円の黒字」でした。

今後も限られた財源をいかに効率よく、効果的に使うかを十分考慮し、住みよい七尾市を目指したまちづくりに取り組みます。

平成26年度 普通会計

※普通会計…一般会計にケーブルテレビ事業特別会計などを含めた会計。



●財政調整基金: 収入を調整したり、急激な税の落ち込みや災害などに備えたりするために積み立てているお金
●減債基金: 市が借り入れたお金の返済を計画的に行うために積み立てているお金

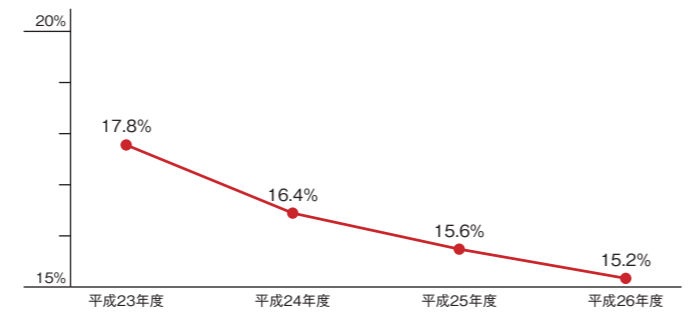
平成26年度に行われた主な事業(歳出)

<h3>七尾中学校 整備事業</h3> <p>事業費●11億4,402万8千円</p> <p>子どもの教育環境の整備と充実を図るため、市内3中学校を統合する新たな中学校を建設(新築)しています。(平成29年4月開校予定) ※統合対象校: 御蔵中、朝日中、田鶴浜中</p> <p>■用地購入、設計委託費 ほか</p>	<h3>和倉温泉 テニスコート整備事業</h3> <p>事業費●5億2,295万円</p> <p>合宿や大会受入の機能をさらに充実させることで、さらなる交流人口の拡大につなげるため、石崎町地内にテニスコート(24面)を整備しました。(平成27年7月完成)</p> <p>■造成工事、人工芝舗装工事、管理棟建設工事 ほか</p>	<h3>市街地西地区 まちづくり事業</h3> <p>事業費●1億2,985万2千円</p> <p>旧中央図書館跡地で、新たな観光拠点施設の整備を行い、まちなか観光を促進することで、中心市街地のにぎわい再生を図ります。(平成28年4月完成予定)</p> <p>■測量、設計業務、用地購入、建物補償</p>	<h3>中島分遣所 整備事業</h3> <p>事業費●6,505万7千円</p> <p>災害に強いまちづくりを進めるため、中島地区の消防・救急拠点である中島分遣所を建て替えました。(平成26年12月完成)</p> <p>■庁舎建築工事、工事監理委託料 ほか</p>
<h3>子育て世帯 臨時特例給付金事業</h3> <p>事業費●5,915万円</p> <p>平成26年4月から消費税が8%へ引き上げられたことに伴い、子育て世帯への影響緩和などを目的として給付しました。</p> <p>■給付対象 児童1人につき10,000円 ■給付対象 児童手当受給者(所得制限あり)</p>	<h3>コミュニティバス 運行事業</h3> <p>事業費●581万5千円</p> <p>北陸新幹線金沢開業を見据えた二次・三次交通の充実と市内回遊性の向上を目的として「まりん号」の逆回り運行を始めました。</p> <p>■市内循環バス「まりん号」の逆回り運行</p>	<h3>インフルエンザ 予防接種事業</h3> <p>事業費●570万6千円</p> <p>子どもの健康づくりと子育て世代の負担軽減を図るため、子どものインフルエンザ予防接種の助成を開始しました。</p> <p>■0歳(6カ月)から中学校3年生までの予防接種に対する助成(助成額1,000円/回)</p>	<h3>七尾城跡史跡指定 80周年記念事業</h3> <p>事業費●516万8千円</p> <p>七尾城跡の国史跡指定80周年を記念し、七尾城のCG映像を作成するなど、七尾城の魅力向上と情報発信に取り組みました。</p> <p>■七尾城復元CG映像の作成、記念イベントの開催</p>

項目	金額	項目	金額
●入湯税(目的:温泉地であるために必要となる経費に充てるため)	観光の振興(ソフト事業) 1億1,686万2千円	●都市計画税(目的:都市計画事業を行うため)	都市計画街路 1億3,175万7千円
●目的税の使いみち		下水道など	3億5,099万2千円
		公園	273万1千円
		土地区画整理	956万円
合計	1億1,686万2千円	合計	4億9,504万円
		●消費税(目的:社会保障に必要となる経費に充てるため[平成26年度消費税率引き上げ分])	社会福祉(生活保護、障害福祉ほか) 6,806万9千円
			社会保険(国民健康保険ほか) 1,894万1千円
			保健衛生(医療、感染症対策ほか) 2,924万2千円
		合計	1億1,625万2千円

実質公債費比率

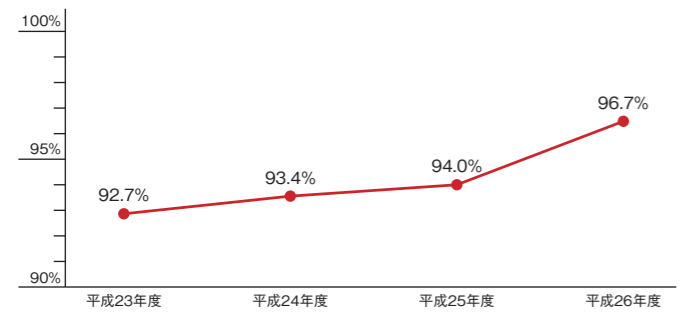
市全体のさまざまな事業における、市のローン返済の状況を計る目安であり、数値が低いほど財源構造に弾力性があります。



経常収支比率

市の生活費の状況を収入との割合から計る1つの目安であり、数値が低いほど財源構造に弾力性があります。

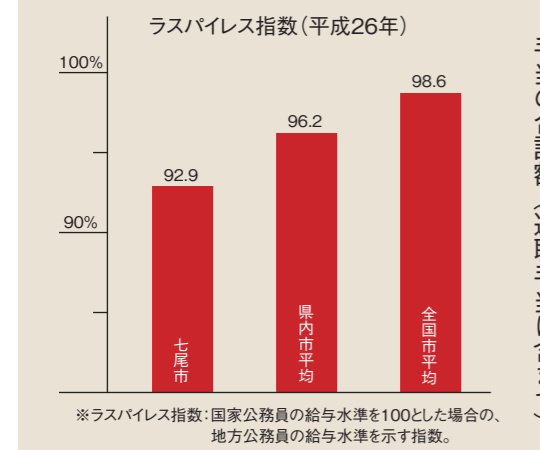
(経常費用充当一般財源/経常一般財源総額)×100(%)



問 企画財政課 ☎53-8455

市職員給与などのあらまし

※詳細は市ホームページ・本庁情報公開コーナーで閲覧できます。



※ラスパイルズ指数: 国家公務員の給与水準を100とした場合の、地方公務員の給与水準を示す指数。

職員給与の状況

(平成26年度普通会計決算)

○職員数/709人
(総職員数から公営企業等会計部門の職員数を除いた数)

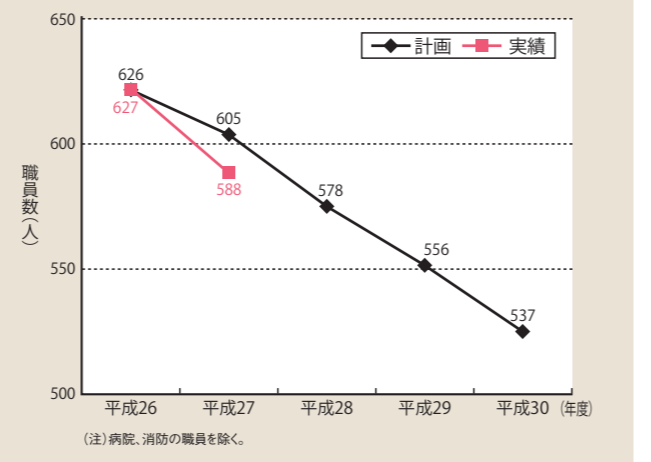
○給与費総額/37億3,292万9千円
(平均給与費/527万円)

※給与費は、毎月支給される給料のほか、扶養・住居・通勤などの各種手当と、民間の賞与(ボーナス)にあたる期末・勤勉手当の合計額(退職手当は含まず)

職員数の状況

平成27年4月1日現在の職員数は「1,235人」(病院・消防の職員を含む)です。平成25年度末に新たに策定した第3次定員適正化計画(5カ年)に基づき、職員数の適正化に努めています。

第3次定員適正化計画の進捗状況



職員の初任給

区分	七尾市	国
一般行政職	大学卒	174,200円
	高校卒	142,100円
技能労務職	高校卒	139,500円
	中学卒	123,900円

職員の平均給料月額および平均給与月額

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
一般行政職	43.3歳	312,793円	359,896円
技能労務職	53.3歳	291,449円	310,194円

(注) 1.[平均給料月額]とは、職種ごとの職員の基本給の平均。
2.[平均給与月額]とは、給料および職員手当(期末手当・勤務手当・退職手当を除く)の合計額の平均。

職員の退職手当

区分	自己都合	勲奨・定年	支給時期	期末手当	勤勉手当
勤続20年	20.445カ月分	25.55625カ月分	6月期	1.225月分	0.675月分
勤続25年	29.145カ月分	34.5825カ月分	12月期	1.375月分	0.825月分
勤続35年	41.325カ月分	49.59カ月分	合計	2.6月分	1.5月分
最高限度額	49.59カ月分	49.59カ月分			

(注) 支給率は国と同じ。

特別職の給料など

区分	金額	備考
給料	市長	920,000円
	副市長	740,000円
議員報酬	議長	537,000円
	副議長	428,000円
	議員	401,000円
退職手当	市長	18,694,400円
	副市長	9,353,600円

期末手当: 3.1カ月分(26年度支給割合)
3.1カ月分(26年度支給割合)
1期(4年間) 勤めた場合の見込額

問 秘書人事課 ☎53-8465